

ご好評のマルチユースミリ波レーダセンサにラインアップを追加！

小型マルチユースミリ波レーダセンサ「1A1M形」 高感度モデルの発売および追加機能のご案内

IDEC 株式会社（本社：大阪市淀川区、代表取締役会長兼社長：船木俊之）は、アルプスアルパイン株式会社との合弁会社となる、IDEC ALPS Technologies 株式会社より発売した、無線設定の小型マルチユースミリ波レーダセンサ「1A1M形」の追加モデル「1A1M-1A41/1D41」を2024年1月9日（火）より発売いたしました。同時に、機能の追加も行いましたのでご案内いたします。

小型マルチユースミリ波レーダセンサは、高周波のレーダ（本製品では60GHz）を対象物に照射してセンシングを行うことで、約10m距離までの対象物の有無検知や、対象物までの距離、対象物の反射強度を検出することなどができます。低消費電力で耐環境性にも優れており、光学式センサでは検知が難しい、西日や降雨・降雪がある屋外、水蒸気、粉じんが舞うような環境下でも使うことができ、超音波式センサと比較してもより高い耐環境性能を有しています。



小型マルチユースミリ波レーダセンサ
「1A1M-1A41/1D41」

■高感度モデル「1A1M-1A41/1D41」

今回発売したモデルはレンズの口径やレンズまでの距離を工夫し、照射するレーダの検知幅を従来型の約半分に抑えております。これにより周囲の影響を受けず本来検知したい対象物にピンポイントにビームを照射し、対象物以外の周囲の物体の影響を抑えることができます。また同時に検知の感度を上げていますので、従来型に比べ対象物を検知し易くなっていることが特長です。

■「1A1M形」の追加機能・アプリ

今回追加した機能は以下のとおりです。なお、これらは既存モデルを既に購入いただいているお客様でも無償提供のツールを通じてアップグレードいただくことでお使いいただけます。

- 高速移動体の検知により特化した「**移動体検出モード機能**」
- アナログ出力が距離データに加え、電波強度データも選択できる「**電波強度出力機能**」
- より高度なIoTニーズに対応できる「**IO-link 対応**」
- パソコン向けの設定・モニタリングツールが、スマホやタブレットでも使える「**Android/iOS 対応アプリ**」もご用意いたしました。

車載用で使われたレーダ技術が、産業界で用途に広がりつつあります。他社に先駆けて発売をいたしました弊社のマルチユースミリ波レーダセンサは、今回の機能追加・モデル追加によって、産業用途でのより多様、よりきめ細やかな物体検知および距離検知ニーズに対応をしております。

このリリースに関するお問い合わせ

IDEC 株式会社 経営戦略企画本部 コーポレートコミュニケーション室 元山理映子
(TEL) 06-6398-2505 (Email) rieko.motoyama@idec.com

■ 活用シーン

【有無検知】

- 駐車場の車検出（車／人識別アルゴリズム搭載予定）
- 光を吸収する素材（ゴムや黒色系のワークなどの検出）

【距離検出】

- 洗車機に入る車の車幅検出
- 樹脂窓の外からタンク内の液面レベル検出



IDEC ALPS Technologies 株式会社の Web サイトにて詳細情報を公開しておりますので、下記よりご覧ください。

（URL：<https://iat.idec.com/>）

■ 参考：標準価格

オープン価格

■ 参考：IDEC ALPS Technologies 株式会社の概要

会社名	IDEC ALPS Technologies 株式会社
本社所在地	大阪市淀川区西宮原 2-6-64
資本金	1 億円
代表者	代表取締役社長 錦朋範（IDEC 株式会社 常務執行役員 開発・環境担当）
設立	2021 年 9 月 1 日
出資比率	IDEC51%、アルプスアルパイン49%
事業内容	産業向けセンシング製品、HMI製品、安全製品および無線/通信技術の事業立案・製品企画、製品開発、製造・販売

以上